

やまざと



「コブシが映える残雪の道」

白い雲を見つめていると思い出す
確かに踏みしめてきたはずだ

青い空にコブシが映える残雪の道
満天の星が降る夜明け前の道
黄色や赤や絵の具で彩られた落葉の道
ラッセルで心臓が悲鳴をあげた新雪の道

なぜ歩き始めたのだっただろうか

空を流れる白い雲たちよ
憧れは今も続いているのだ

**いやはや、
なにはともあれ、
歩き出すぞ!!
2004新年号**

「やまざと」VOL.18

いやはや、なにはともあれ、歩き出すぞ!! 2004新年号

))) CONTENTS

表 紙

題字(23期・中川 晃成) コピー(20期・久富 象二) イラスト(21期・竹中 敏)

))) PAGE	))) TITILE	))) TEXT
01	OB会長就任にあたって	19期・梅 典雅
02~03	金沢大学ワンダーフォーゲル部OB会会則	
04~07	創立45周年記念総会・懇親会 概要	
08~09	現役の皆さんからの声 ~45周年記念行事に参加して~	45期・森本 達也 46期・敝田 聡子/池田 幸平/伊藤 亜希子/荻田 真憲/岩田 奈穂子 47期・中西 浩之/山本 一成/山本 容子/久保田 泰加/村田 豊子
10~17	写真でつづる■KUWV45周年事業	21期・大野 直子
16	45周年事業 記念品カップの制作者 [ワンゲルOB諸氏からの海外赴任 健闘記]	20期・中村元風氏 紹介
18~19	●韓国・スオンだより	20期・高田 泰夫
20~21	●中国・蘇州だより	21期・岡崎 秀二
22~23	●ブラジル・サンパウロだより	21期・山口 克己
19	2004OBスキー合宿 情報「スローライフ、スロースキー」	
24~26	新ネパール紀行「ネパールで感じたことなど」	20期・久富 象二
27	ワンゲルの卒業生は皆OBです	

奥 付

OB会長就任にあたって

19期 梶 典 雅

2003年9月13日に開催された金沢大学ワンダーフォーゲル部創立45周年記念およびOB会総会におきましては、顧問の前田先生をはじめ、ご出席いただきました皆様、お世話をいただいた新旧役員、関係各位に厚くお礼を申し上げます。

OB会ができて10年が経ちました。この間、初代会長の大島さん、二代目会長の奥名さん、事務局長として二期にわたり会を支えられた舟田さんをはじめ、役員諸氏のたいへんなご苦勞に対し、心から感謝と敬意を表する次第です。

この総会において、我々が役員として会の運営を引き継ぐことになりましたが、正直申し上げまして、我々も前役員としてそのたいへんさ、困難さを承知していたがゆえに、躊躇しました。「この総会で幕引きをして、当分の間休会という選択肢もある」との示唆もありましたが、さすがにそれは違うだろうと言うことで、これまでのような充分なことはできないにしても、なんとか引き継いでいこうということになったわけです。

決断をしたのが、2003年の4月、実際に準備に動き出したのは8月も下旬になってからというのが偽らざる状況でした。そのため、さまざまな不手際や行き届かない面が多々あったことと存じますが、事情をご理解の上、なにとぞご容赦をお願い申し上げます。

さて、次期会長を引き受けるに当たって、数人の役員候補メンバーが集まった際に、私はひとつのイメージを話しました。それは、OB会の仕事を「楽しみながらやろう」ということです。言うほどに現実には甘くないでしょうし、批判もあるかと存じますが、そもそも当会の主目的は「会員相互の親睦」です。それを忘れないようにしたいと思います。役員は会の召使いではなく、だれかがしなければならぬお世話を進んでやっているだけです。したがって、しばしばみられる幹事・役員は「滅私奉公」、参加者は「お客さん」という構図にはしたくないと思っています。また、楽しげな役員の活動の姿は、きっと次につながっていくのではないかと期待もしているところです。

ともあれ、「楽しみながら」をモットーに、できる範囲内でやっていきたいと思っていますので、ご理解とあたたかいご支援・ご協力を心からお願い申し上げます。

具体的な事業としては、次のことを検討しつつ、実施していきたいと考えています。

1. 会報「やまざと」の発行

- ・年1回発行を継続し、コンパクト化を図りつつ山以外の話題も載せて楽しめるものに。

2. 行事の開催

- ・「山小屋酒場」は、新オヤジの穂積さん（13期）にお願いし、引き続き実施する。
- ・スキー合宿は、世話役の青柳さん（11期）にお願いし、引き続き実施する。
- ・できれば年に1回程度、ミニ総会といった感じの山行・懇親会などを行う。

3. 部歌の制定

- ・50周年記念に向けた事業として、部歌または愛唱歌もしくはOB会歌を制定する。
- ・今期中の制定を目指し、OB会員（現役）から作詞・作曲の募集をする。

（本件に関する総会での私の提案と下手なパフォーマンスは、私個人があたためていた「思い」の一端であり、実は新役員もビックリでした。大筋で同意をいただけたのではないかと受け止めていますが、今後、会員に諮りつつ進める予定です）

（注）本稿は総会当日に話した内容にできるだけ沿いつつ会誌用に書き改めたものです。

金沢大学ワンダーフォーゲル部OB会会則

第1条（名称）

本会は「金沢大学ワンダーフォーゲル部OB会」と称する。（以下本会と称する。）

第2条（構成）

本会は金沢大学ワンダーフォーゲル部に所属した卒業生で構成する。

第3条（目的）

本会は会員相互の親睦をはかるとともに、現役部員の幅広い活動環境の維持を支援し、もって金沢大学ワンダーフォーゲル部の発展に寄与することを目的とする。

第4条（行事）

本会の目的を達成するため、次の行事をおこなう。

1. 会誌の発行
2. 会員名簿の整理
3. 記念行事
4. その他目的達成に必要な諸行事

第5条（役員）

本会の目的遂行および運営を円滑におこなうため、会員の互選により、次の役員を置く。役員の任期は5年とし、再任を妨げないものとする。

会 長	1 名
副会長	1 名
事務局 局長	1 名
会 計	1 名
幹 事	若干名

第6条（連絡員、運営委員）

本会の円滑な運営のため、会長の委託により各期1名の連絡員と若干名の運営委員を置く。

第7条（顧問）

本会の運営に必要な指導と助言を仰ぐため、顧問を置くことができる。

第8条（機関）

本会に次の機関を置く。

1. 総会
2. 役員会

第9条（総会）

総会は5年ごとに開催するものとし、会長がこれを召集する。総会では以下の事項を決する。

1. 本会の会計に関する事項
2. 会則の改廃に関する事項
3. 本会の行事に関する事項
4. 役員の選出
5. その他、本会に関する諸事項

なお、役員会の決定により、会長は臨時に総会を召集することができる。

第10条（役員会）

役員会は第5条の役員をもって構成し、本会の運営に当たるため随時開催できる。

第11条（役員の補充）

役員に欠員が生じた場合は役員会で補充する。補充役員の任期は前任者の残任期間とする。

第12条（会費）

本会の経費は会員の納める会費と寄付金を持ってこれに充てる。会費は年間2000円とする。ただし、役員会において必要と認めた場合は臨時会費を徴収することができる。

なお現役部員の部活動に対し役員会の決定により、その費用の一部を本会の会費より充当することができる。

（付則）

本会則は平成5年8月21日より実施する。

本会の事務局は事務局々長宅に置く。

平成10年9月12日 第5条 改正

新役員（案）

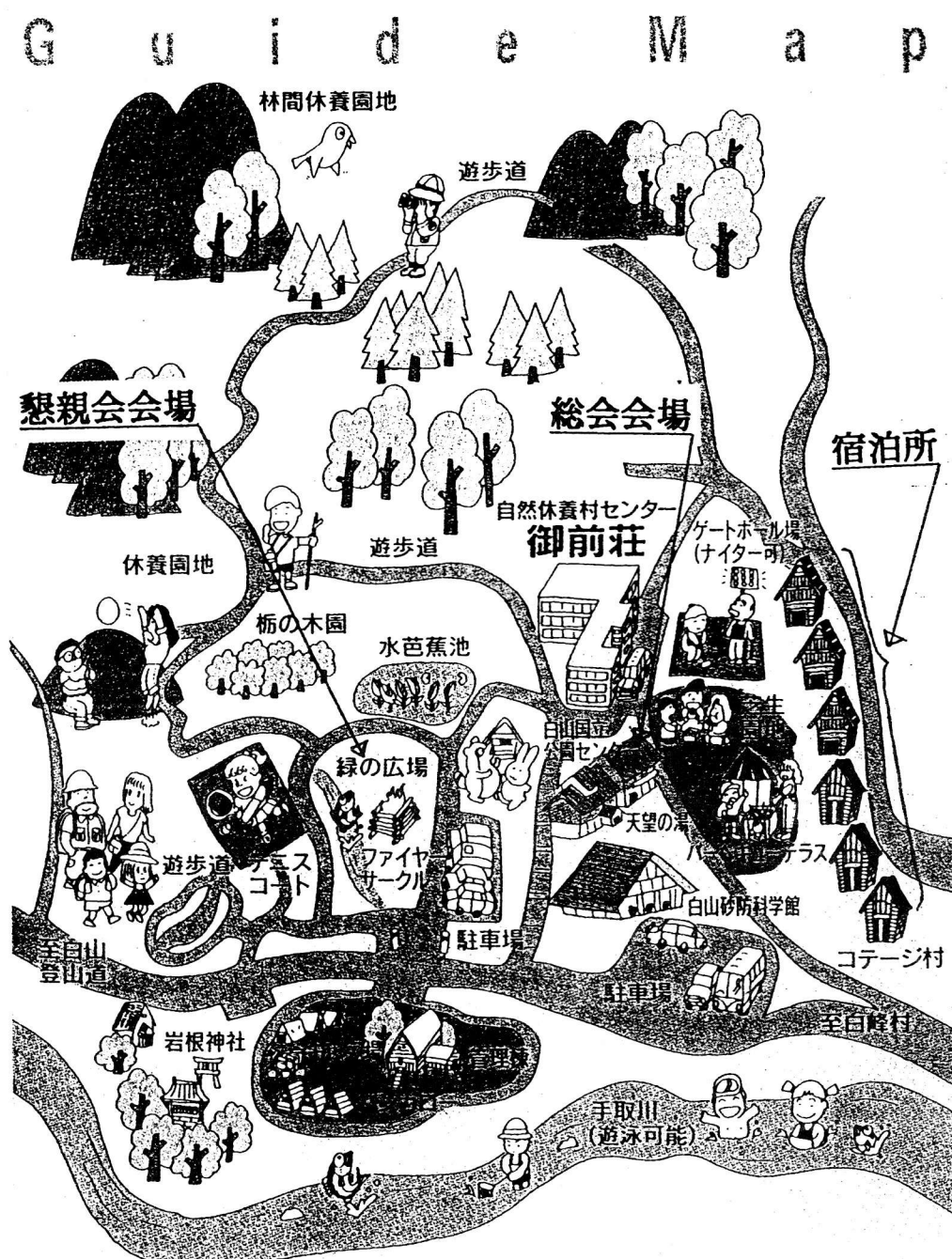
会 長	19期	梅 典雅
副会長	20期	久富 象二
事務局長	21期	大野 直子
会 計	23期	鳥越 伸博
幹 事	20期	深田 進
〃	21期	梅 睦美
〃	22期	森 恵利子
〃	23期	中川 晃成
〃	23期	名倉 均

金沢大学ワンダーフォーゲル部 創立45周年記念総会・懇親会

平成15年9月13日(土)・14日(日)
石川県白峰村 白山まるごと体験村内
白山国立公園センター、御前荘・緑の村

日光を浴びよ 自然に親しめ
浩然の気を養え 民謡を唄え
山に登れ 伝説を取りもどせ
祖国の土に芽ぐむ魂を思え
そしてさらに
身体を健全にし 厳格にして自己を訓練し
青春の精力を濫費するな

(創立モットーより)



スケジュール

9月13日（土）

16:00～	受付	
16:30～17:30	総会	白山国立公園センター2F レクチャーホール
17:30～19:00	夕食入浴等	夕食：各コテージ　入浴：御前荘
19:00～21:00	懇親会	緑の広場（雨天：レクチャーホール）
21:00～	自由時間	

9月14日（日）

7:30～ 8:30	朝食	各コテージ
8:30	散会	
～15日	二次会（希望者）	ベルクハイムにて

総会次第

（司会 森 恵利子）

・開会		
・会長挨拶	15期	奥名 正啓
・顧問挨拶		前田 達男
・事業報告	15期	舟田 節子
・会計報告	23期	鳥越 伸博
・新役員選出	15期	奥名 正啓
・新会長挨拶		
新役員紹介		新会長
・現役主将挨拶	46期	敵田 聡子
・中村元風氏紹介	15期	舟田 節子
・事務連絡	22期	森 恵利子
・閉会		

懇親会次第

（司会 岡部 伸一）

・開会		
・開会挨拶、乾杯	3期	田村 昭夫
・各期代表挨拶		
1～10期	1期	仙田厚太郎
11～20期	11期	青柳 健二
21～30期	21期	大野 直子
31～40期	37期	柴田 祐介
41～44期	41期	田村 賢司
・アトラクション		現役、OB有志
・ワンゲル歌合唱		
・閉会挨拶		
万歳三唱		新会長
・閉会		

OB参加者一覧

期別	氏 名
顧問	前田 達男
1期	仙田 厚太郎
3期	北 正昭
	鈴木 兵一
	田村 昭夫
	登内 郁夫
	西尾 皓史
4期	高田 昌嗣
	森島 稔
	佐藤 秀紀
5期	久島 俊也
6期	上野 伊み子
	大崎 進
	久島 洋子
7期	村田 泰恵
8期	穴田 昭一
	伊豫 欣二
	篠島 益夫
	柳川 徹
9期	白井 勇
	保田 敦
11期	青柳 健二
	加藤 忠好
	〃 智美
	〃 手依里
	守内 成一
	森川 功
12期	近藤 正興
13期	柴田 茂樹
	〃 訓子
	辰野 隆義
	橋正 徹
	南 梅子
	吉田 穂積
	吉本 良治
15期	上馬 康生
	宇野 潔
	奥名 正啓

欠席

期別	氏 名
15期	坂尻 忠秀
	舟田 節子
	松林 知一
	高村 千佳子
18期	椿川 利弘
	藤森 忠夫
	岡部 伸一
19期	梶 典雅
20期	深田 進
21期	大野 直子
	梶 睦美
22期	森 恵利子
23期	鳥越 伸博
26期	畠山 潤
37期	柴田 祐介
38期	吉原 正敏
41期	田村 賢司
	林 司
	森田 善文
	竹内 利行
	河村 浩之
42期	角谷 誠
	矢内 佑一
	越前 聡子
	前川 昌宏
43期	小倉 亮
	阿納 真弓
	加藤 菜就
	清水 健作
	井沢 寿予
	矢田部 桂
	谷上 望
44期	杉村 明慶
44期	谷村 一成
	西 大輔
	河原 一美
	山本 資治

欠席

欠席

追加参加者

8期	保田 志津子
41期	市山 祐司
41期	得田 馨理
42期	笹田 竜え
42期	志賀 寛人
42期	坂本 一樹
43期	奥野 岳志

現役の出席者は4回生…松山、深作、森本、古田、渡

3回生…荻田、岩田、伊藤、松本、しょうだ

2回生…中西、山本(容)、久保田、山本(一)

1回生…村田

(他多数参加)

※20期 久富象二(当日は都合により欠席となりましたが、翌朝、後台本に馬印けつけてくださいました)

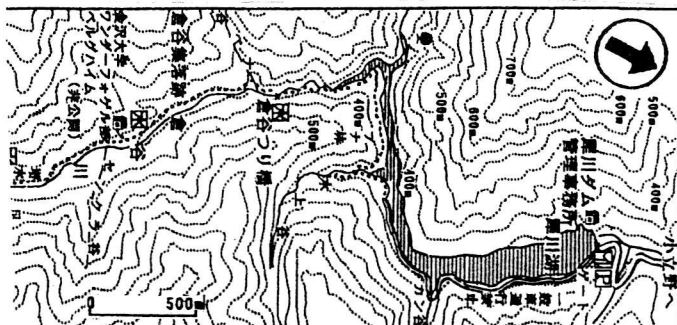
創立45周年記念総会

二次会（兼・秋の山小屋酒場）

9月14日（日） 総会行事終了後、倉谷へ、分乗出発します。暴風雨以外実施。

＊日帰り散策…金沢市の水瓶犀川ダムと、山小屋を訪ねます。

＊1泊…囲炉裏回りを制作します。夜：酒場開催



＊日帰り散策はいかがでしょうか？

ほぼ平地。途中で水場多数。

コンビニで、昼食を仕入れたら、楽々往復できます。ご希望の方があれば分乗の手配をします。

＊泊りたい方。シュラフの余分をお貸しします。

買い出しは途中でやりますので、飛び入り可。

＊今回行かなかったら、二度と行けないかも…。ご希望の方は、本日中に、舟田までお知らせ下さい

新・分県登山ガイド（番外編）

金沢の上高地

金大ワンゲル史蹟？

倉谷 B H
くら たに ベルク ハイム

標高 400m

危険度☆ 難易度☆

歩行時間 1時間20分

歩行距離 5km

◎登山適期 4月下旬～6月 9月～11月上旬

倉谷には、江戸時代から昭和にかけて金山があった。最盛期には400戸の家が建ち並び、馬車も往来したという。昭和38年の犀川ダム建設により、麓の二又集落とともに全戸離村した。その一廃屋を高台（寺院跡）に移築し、倉谷の新たな住人となったのが、金大ワンゲル部。以後、新道（ナガ、クラコシ尾根）、犀滝ルート、見越山への犀奥登山道を伐開。小屋は昭和49年に改築。平成5年大修復。平成8年より、金沢市スポーツ振興課の助成をうける団体となり、登山道整備が継続されている。

犀川ダムまで舗装道路を走る。ヘリポートをひかえたダム管理事務所が見えると、高三郎山もその上に登えるようになる。山菜シーズンには手前の谷まで縦列駐車が延びていることもある。

平成13年秋には重機が入り、約30年ぶりに吊橋の見える付近まで、林道（一般車通行禁止）が復活した。が、翌年水上谷手前で上部からの崩落により約20mに渡り埋没。徒歩か舟かの入山が継続し、秘境を保っている。

ダムを背後に数分、舟着場を下りる手前右にある石積は、昭和45年6月、新トレで15期桂茂樹氏の倒れた地点。さらに20分、顕彰碑2基の左脇には、昭和53年4月、卒論調査の入山で遭難した19期高桑弘親氏の慰霊碑がある。ここから道はカン谷に大きく回りこみ、昔刀利へ抜けたと言われるかすかな踏み跡を見送って、さらにダム湖沿いを進む。

前述の崩落箇所を越え、かつては渡渉まがいをしていった水上谷をそれと気付かずまいでしめと、左に良好なブナ林が広がってくる。水没した二又集落の、雪崩止めとして保存されていた林である。

出島で二又川を見送り、左の谷に折れる。ワンゲルOBならこのあたりから、さしずめ帰ってきた鮭のように倉谷の匂いが感じられてくるはずである。まもなく赤い吊橋が見え、春であれば満々の水、秋であれば中央を細々と流れるせせらぎを跨ぐ。苔むしたゆるい登り坂を越えれば倉谷集落跡。広がった谷に点在する石組、石碑、倒れた石鳥居、発電所跡が、人の住んだ地を物語っている。小さな流れを2本渡り、かつてはワンゲルテントが並んだ川原に至ると、右に最近のテン場と、水場を認める。BHへの道はそこから、昔どおり斜面をあがっており、一登りで青屋根と「ご対面！」である。

◎ワンポイントアドバイス

＊「ベルクハイム」は小屋建設時の当時の金大学長による命名。部誌の名前にも兼用された。その和訳である「やまざと」はOB会報名に使用される。小屋用地は、営林署へ3年毎に9000円の賃貸料を払い借用更新している。

＊小屋左の「愁心碑」は、桂氏の3回忌に制作。平成7年月見の宴の際、補修された。

＊倉谷集落跡は、元金沢市職員の山下忠氏がボランティア草刈りを続けている。

現役の皆さんからの声

～45周年記念行事に参加して～

たくさんの方々から、原稿を寄せて頂きました。皆さんの声に力づけられました！ありがとうございます。50周年では一緒に歌いましょう。

45期 森本達也

日頃会う機会のないOBの方々に出会えたのは貴重な体験でした。上映会の時には渋い音楽に乗ってワングルの歴史を振り返ることができましたし、飲み会の時には歌を聞かせていただき、楽しいときを過ごすことができました。

46期 畹田聡子

OB会では普段接することのないOBの方々と交流がもて、今と昔で変わったことや変わらないことを知って、ワングルの良さやおもしろさを改めて実感しました。特に、昔は夜テントの中で歌を歌っていたということにたいへん驚きました。いったいいつどのようにその習慣がなくなったのか気になりましたが、なくなったと思われる代の方々が全然来られなかったため、結局分からず残念です。それにしてもOB役員の方の歌は上手で、しかも多くの歌を知っていてとてもうらやましく思いました。夜、いっしょに歌ったりそれにまつわる思い出を聞いたりしたことは良い思い出です。次のOB会は五年後ですが、また一緒に歌えることを楽しみにしています。

46期 池田幸平

実はOB会でOBの方々と話したという記憶がない。忘れたということではなく、実際に話していないからだ。開会式が終わり、飲み始めてしばらくすると寝てしまった。起きた時には閉会式であったためOBの方々と話せない事が残念だった。

しかし、後日お疲れさん会でその機会を得られた。会が始まる直前まで山に登っていらっしゃる方が多く、現役としてショックを受けた。現役との違いや共通点を知ることができ、OBのパワーというか現役の力の無さを感じた。情報交換の機会に恵まれ、良い経験となった。

46期 伊藤亜希子

山の歌をたくさん聞くことができ、また当時のワングルの活動や、山の思い出なども聞かせてくださり、とても楽しい時間を過ごすことができました。どうもありがとうございました。OB会を主催して下さった先輩方の前々からの準備など見えないご苦労があったからだと思います。本当にありがとうございました。五年後も楽しみにしております。



46期 荻田真憲

ワングルのOBは、皆さん元気な方ばかりであるという印象を夜のコテージの中での集まりの時に受けました。特に新役員の方々の熱唱ぶりには圧倒され、現役に勝るほどの元気と若々しさがあると感じました。自分もOBの方々のような明るさと元気さを見習っていきたいと思いました。それでは五年後に再び会えるのを楽しみにしております。

46期 岩田奈穂子

5年に1度のOB会とはいえ、0期田村さんから48期現役生まで、あんなにたくさんの人が集まるワングルの団結力に驚き感動しました。昨年、一昨年に卒業された先輩方にお会いできたのはもちろん、今までお会いしたことがなかった大先輩方のお話が聞けたり、山の歌なども教えていただいて、とても楽しい会でした。卒業して10年、20年経って、石川から遠くはなれた土地に住んでいたとしても、OB会にはぜひかけつけよう！と思いました。

47期 中西浩之

OB会楽しかったです。様々な先輩方がおられて、ワングルの伝統を感じることができました。私たちもこのすばらしい伝統を引き継いで、よりすばらしいワングルにしていきたいと思います。そして後輩たちにも引き継いで行きたいと思います。もう少し大先輩の方々と接していろいろな話をお聞きしたかったと思ったのが唯一の心残りな点でした。

47期 山本一成

OBの人がたくさんいて驚いた。歴史の重みを感じた。自分も将来はこんな風にみんなに会いたくなるのかな～と思った。それにしても昔も今も飲み会は激しいですね。

47期 山本容子

OB会では金大のワングルが自分の想像以上に昔からあることを感じました。キャンプファイヤーが雨で中止になったのは残念でしたが、OBの方達と交流ができて楽しい時間を過ごせました。ありがとうございました。

47期 久保田泰加

この間のOB会ではお世話になりました。OBの方々に初めてお会いしましたが、どなたもパワフルで、山に言っている回数もとても多く、現役の私たちよりもよっぽど“現役”だと思いました。沢山刺激を受けることができて、参加してよかったと思います。ありがとうございました。

48期 村田豊子

一番の思い出は、OBの方々と一緒に歌を歌ったことです。ワングルの歌集にのっている、私たちの知らないたくさんの歌。みんな気持ち良さそうに声を張り上げていて、その雰囲気は最高でした。いつまでも心に残る歌っていいなあと思いました。